

稲作だより

～第2号 育苗編～

高温予報！浸種温度に注意！！



※気象庁2週間気温予報（4月7日5時更新）より引用

1 浸種の水温は15℃を超えないように！

- 浸種水溫が15℃を超えるとばか苗病菌が増えやすくなります。
- 直射日光が当たらない日陰や屋内で浸種を行うとともに、水溫が15℃未満となっているか、温度計で確認しましょう。
- 水交換に合わせて種子袋の位置の入れ替えを行い、生育ムラを防ぎましょう。

浸種期間の目安

品 種 名	積算水溫	浸種日数	
		水溫 10℃	水溫 12℃
はえぬき、つや姫、雪若丸、あきたこまち ひとめぼれ、コシヒカリ	120℃	12日	10日
ササニシキ、ヒメノモチ、こゆきもち	100℃	10日	9日

2 催芽は「ハト胸状態」になるまで

- 催芽の適温は 30～32℃ です。
芽と根が1mm出た状態（ハト胸状態）まで催芽を行いましょ。
- 「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」、酒造好適米は休眠が深くなりやすいので、芽切れをしっかりと確認しましょう。
「ヒメノモチ」は芽が伸びやすいので伸ばしすぎに注意します。



3 苗種に合わせて適正な播種量

- 下記の播種量（乾粃換算）の目安を参考に適切な播種量で播種を行いましょ。
- 播種量が多すぎると、軟弱徒長苗の原因になります。

播種量（乾粃換算）の目安

苗種	播種量 （乾粃g/箱）	育苗日数 （日）	移植適期葉齡 （枚）
中苗	80～120	30～35	3.5
稚苗	150～180	20～25	2.5
高密度播種苗	250	15～20	2.0

4 出芽～緑化期の温度管理

○ **4～5月の気温は高いと予報されています！**

○ 施設内の温度上昇による高温障害（ヤケ）に注意しましょう。

○ 晴天日は、外気が肌寒くても閉め切ったハウス内はすぐに高温になります。施設内の温度（特に苗箱付近）を確認し、朝8時までに換気しましょう。

◇ 温度管理の目安（出芽～1.5葉期）

稚苗育苗（育苗器で出芽する場合）		中苗育苗（無加温で出芽する場合）	
出芽期（2日間）	30～32℃	出芽揃いまで	20℃以上
緑化期（3日間）	昼間 20～25℃ 夜間 10℃以上	出芽期～ 1.5葉期	昼間 30℃以下 夜間 5℃以上

○ 無加温出芽の場合、出芽揃いまで保温資材を活用し、適正な温度を確保しましょう。

○ 出芽後は、直射日光を避けながら徐々に緑化させます。

※ 被覆用の資材毎に遮光率、保湿性、保温性が異なるので、注意が必要です！

○ プール育苗は、苗が伸びやすいため、積極的に換気して温度を上げ過ぎないようにしましょう！

5 病害予防～ばか苗病・粃枯れ細菌病に注意～

ばか苗病

令和7年度多発

○ 種子を運搬する車の荷台や作業場所はよく清掃し、菌の再感染を防ぎましょう。

○ 下記チェックリストを活用し、ばか苗病対策をしっかり行いましょう。

ばか苗病対策チェックリスト

作業	項目	確認内容	チェック
作業環境の衛生管理	作業場所	作業場所・育苗施設に稲わら、粃殻、米ぬか、乾燥調製の粉じんがない。	<input type="checkbox"/>
	育苗器具・機材	育苗器具機材の洗浄・消毒を行った。	<input type="checkbox"/>
浸種～出芽	浸種水温	水温は10℃以上15℃未満である	<input type="checkbox"/>
	水交換	清潔な水を使用し、2～3日に一回水交換を行っている。	<input type="checkbox"/>
	催芽温度	水温は30～32℃である。	<input type="checkbox"/>
	出芽温度	30～32℃であり、出芽期間は長くなりすぎしていない。	<input type="checkbox"/>
育苗	育苗資材	培土や置床に生粃殻、粃殻くん炭、わら等を使用していない。	<input type="checkbox"/>

粃枯れ細菌病

令和6年度多発

○ 発病後の治療効果がある薬剤がないため、種子消毒による防除が基本となります。

○ 催芽・出芽時の高温は感染を助長するため、特に温度管理に注意しましょう。

○ 育苗期間中は25℃以上の高温とならないように適切な温度管理に努めます。

○ 発病が見られた苗は本田に持ち込まず、適切に処分しましょう。

☆春の農作業事故防止啓発運動展開中（4月1日～6月10日）

あせらず、ゆとりを持って農作業をしましょう。周囲の方にも、声掛けを！

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8634、8635、8636、8637